

## 【 施行方法 】

### 下地処理

塗装する前に、塗料が飛んでしまうと困る場所に、マスキングや養生を施してください。

次に、塗装したい部分をキレイな布等で、ゴミ、油分、ワックス等を除去してください。

※ 脱脂にはパーツクリーナー、またはシリコンオフを用いると効果的です。

※ パーツクリーナー、シリコンオフの溶剤を、水でしぼった細かい布ウエスで、溶剤分が残らないように、きっちりと拭き取ってください。

### 塗装

1回目塗装からムラなくタレない程度にツヤがでるまで塗装して、約1分～2分乾燥させてください。

この段階で仕上がりが変わります。薄く塗りすぎるとツブが最後まで残ってしまいます。

1回目の塗装が乾燥後、塗り重ねに入ります。乾燥の目安として、周りに飛散した余分な塗料を触って、乾燥していることを確認し、必要な膜厚になるまで3～4回の塗り作業を行ってください。

乾くとフィルムになり同化します。

塗る回数を重ね塗膜を厚く仕上げると、プロテクション効果を高めるとともにはがすときにハガシやすくなります。

※常温時の目安、通常1.3口径のガンでパターン2回転～2回転半・吐出量2回転半・エア圧1.8～2.0

※冬場の目安、通常1.3口径のガンでパターン2回転～2回転半・吐出量4回転半・エア圧2.2～2.5

(粘度の高いサフを塗装するイメージ)

※塗装ガンはフィルム塗料専用ガンをご用意して頂くことをおすすめします。

※溶剤系でご使用中のガンを使用する際は、中にシンナー、溶剤系が残っていないようにして下さい。残っていると小さなチジミが発生します。

水をカップに入れ一度通してからのご使用をおすすめします。

使用後は直ぐに水で洗浄してください。シンナーで洗浄しますと細かな塗料のカスが出ます。

※マスキングは乾燥前にはがすと、境界がキレイにはがせません。

※塗料は乾燥時に伸びますので平滑にはなり易くなっておりますので早い間隔での塗り重ねにはご注意下さい。

### 乾燥

約2時間で乾燥となります。(季節や天候によって異なります。)

乾燥後はツメなどできっかけを作り、つまんではがせません。

乾燥するまでは、塗膜をはがさないでください。

(はがす際に細かく残ってしまった部分はパーツクリーナー等で除去行なってください。)

(テープを貼り付けテープの粘着力で剥がしてください。)

フィルム形成時の持続期間目安は1年から2年ぐらいになります。